

魂のヴァイオリニスト 若林 暢

七回忌記念コンサート



若林暢音楽賞受賞

鳥羽咲音チェロリサイタル

2022年 8月 29日 月

開場13:30 v開演14:00

会場:武蔵野市民文化会館

東京都武蔵野市中町3-9-11 TEL 0422-54-8822

入場無料 要予約

ピアノ:鳥羽泰子

Program

シューマン:アレグロとアダージョ Op.70

ブラームス:チェロ・ソナタ 第1番 ホ短調 Op.38

サラサーテ:チゴイネルワイゼン

シューベルト:アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D821

(プログラムは当日変更させていただくことがあります。ご了承ください。)

主催:一般財団法人 若林暢音楽財団

協力:Music Giving

:鳥羽咲音の音楽活動を応援する会

後援:音楽之友社

予約お申し込み先:090-7255-8982

ヴァイオリニスト

若林 暢 Nobu Wakabayashi

東京芸術大学、同大学院を経てジュリアード音楽院卒。博士号を取得。(この論文は2017年に音楽之友社から「悪魔のすむ音楽」として発売される)カーネギーホールでのデビュー・リサイタル以後、アメリカ、ヨーロッパ、日本、中国、韓国など世界各地で演奏活動を行う。その演奏はNYタイムズ紙でも高い評価を受ける。ロンドンで発売されたデビューCDは欧米各誌で絶賛され、西ドイツ

放送協会でも収録された「アイヴズ:ヴァイオリン・ソナタ全集」はインターナショナル・リリースされる。ニューヨーク国際芸術家コンクール、モントリオール国際コンクールなどで優勝、ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクールでは優勝を逃したがヘンリック・シェリングに絶賛された。2016年6月に乳癌で亡くなる直前までヴァイオリニストとして演奏活動を行い、翌年ソニー・ミュージックレーベルズより発売された2枚のCDは大ヒットを記録し、年間ベストセラーCDクラシック部門ランキングの1位と2位を独占し、魂のヴァイオリニストと称せられた。

鳥羽咲音 Sakura TOBA / Cello



写真:御堂義乗

2005年、音楽家の両親のもと、ウィーンで生まれる。現在17歳。

2018年第18回泉の森ジュニア・チェロ・コンクール中学生の部で金賞を、第19回モスクワ若い音楽家のためのコンクール「くすみ割り人形」弦楽器部門で銅賞を受賞するなど、数多くのコンクールで入賞、優勝。

2019年3月に初のソロ・リサイタルを開催し、翌月には「鳥羽咲音の音楽活動を応援する会」が発足した。同年10月には沼尻竜典指揮/日本フィルハーモニー交響楽団と共演し、サントリーホールでチャイコフスキーの「ロココの主題による変奏曲」を演奏した。さらに11月には白寿ホールで「チェロ・コレクション」Vol.6 に出演。

以後、2020年の6月から10月にかけて連続リサイタルを行って賛辞を寄せられたほか、山田和樹指揮/横浜シンフォニエッタとの共演や、原田幸一郎指揮/富士山静岡交響楽団の定期演奏会、東京・春・音楽祭でのリサイタルに出演している。

メディアでは、2020年にNHK-FM「リサイタルパッショ」に出演。受賞も多く、2019年には世界に挑む若い音楽家とアスリートに贈られる第2回「服部真二音楽賞」を、2021年には海外で活躍する若い演奏家に贈られる「若林暢音楽賞」を受賞した。2021年からは、Music Giving代表としてクラシック音楽の普及活動も行っている。

使用楽器は2020年製のクレモナのAmorim工房で製作された1739年モデルのMontagnana "Sleeping Beauty"。また弓はJIN工房 陳昌龍製作を使用している。

6歳から毛利伯郎氏に師事。アントニオ・メネセスやダーヴィド・ゲリングス、イェンス＝ペーター・マインツの各氏のマスタークラスにも参加した。

2020年4月から同年度の特待生として、桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コースに在籍。また2021年度は同大学の「チェロアンサンブル・サイトウ」奨学生。同年4月から公益財団法人江副記念リクルート財団第50回（2021年）奨学生および、9月より公益財団法人ロームミュージックファンデーション2021、2022年度奨学生。2022年10月よりベルリン芸術大学にてマインツ氏に師事。

公式ホームページ： www.sakuratoba.com

(2022年7月現在)

鳥羽泰子 Yasuko TOBA / Piano



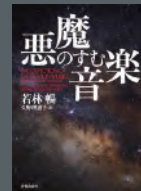
5歳よりピアノを始める。ジュリアード学院音楽部門ピアノ科及び同校修士課程を修了。コンクール歴は、オーストラリア放送協会主催音楽コンクールピアノ部門第一位、イタリアのセニガリア国際ピアノコンクール第三位、及びモーツァルト賞を受賞、オーストリアのザルツブルグ夏期講習にて最優秀ピアニスト賞を受賞、アメリカのテキサス州ショパン国際ピアノコンクール第一位、ベルギーのEmmanuel Durlet国際ピアノコンクール第一位、イタリアのGino Gandolfi国際ピアノコンクール第一位など数々のコンクールで優勝する。1995年から2010年までウィーン在住。日本、オーストラリア、ベルギー、スロヴァニア、オーストリア等で演奏活動を行っている。モーツァルトの演奏を高く評価され14枚のCDが発売され、モーツァルトピアノ小品集は「レコード芸術誌」で特選盤に選ばれる。2019年に東京トリオのCDを発売。又モーツァルトの小品集とピアノ三重奏曲が再リリースされた。

絶賛発売中！

楽曲分析を通して悪魔の姿がどのように描かれているのかを浮き彫りにする

若林 暢著書
「悪魔のすむ音楽」音楽之友社

若林 暢 著 / 久野理恵子 訳
並製・A5判・192ページ
定価1944円(税込)
ISBN : 978-4-276-13056-2



”魂のヴァイオリニスト” 若林暢



『ヴァイオリン愛奏曲集』

MHCC 30005
定価：¥2,750 (税込み)
発売元：ソニー・ミュージックレーベルズ

2017年度クラシック年間ベストセラーCD ランキング（2016年11月28日～2017年12月3日/レコード特信出版社調べ）1位。
レコード芸術誌で「特選盤」に選ばれる。



『ブラームス：
ヴァイオリン・ソナタ全集』

MHCC 30004
定価：¥2,750 (税込み)
発売元：ソニー・ミュージックレーベルズ

2017年度クラシック年間ベストセラーCD ランキング（2016年11月28日～2017年12月3日/レコード特信出版社調べ）2位。
レコード芸術誌で「特選盤」に選ばれる。



『魅る若林暢』

MHCC 30006
定価：¥2,750 (税込み)
発売元：ソニー・ミュージックレーベルズ

月間ベストセラーCDランキング（2018年12月～2019年1月）・クラシック部門で1位を獲得。
レコード芸術誌で「特選盤」に選ばれる。